

令和6年度地方創生推進交付金事業に係る事業評価

資料3

No.	交付対象事業の名称	事業概要	実施内容	総事業費 (うち国からの 交付金額)	重要業績評価指標 (KPI)			自己評価	最終評価	
					指標内容 (指標値)	目標値	実績値	事業効果	外部有識者からの主な意見	
1	高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト	<p>島根県を中心とする全国の55団体とともに開始したプロジェクト。このうち和気町は以下の事業に参画する。</p> <p>【1. 地域みらい留学】 地方の魅力的な教育環境を全国の先駆的な自治体と一体となって都市部へ届けることで地域の高校留学という選択肢をつくる。</p> <p>【2. 高校×地域】 高校と地域の共同により魅力ある教育環境をつくる。 地域と高校をつなぐことに特化した人材や専門スキル・ノウハウを持つNPO法人等を「魅力化コーディネーター」として配置する。 また、地域・学校・行政が連携し、地域外生徒を受け入れる体制を整備する。</p>	<p>【1. 地域みらい留学】 ・地域みらい留学フェスタ開催負担金</p> <p>【2. 高校×地域】 ・人材派遣業務委託料 (地域と高校をつなぐコーディネーター配置) ・県外募集学生と受入者下宿家賃補助</p>	5,313,790 (2,656,895)	補助率 1/2	「高校を核とした関係人口」の数	2,725人	4,740人	<p>A: 地方創生に相当程度効果があった</p> <p>町内唯一の高校である和気閑谷高校を圏域の拠点校として存続させるための魅力化事業の一環として実施した。島根県を中心とする全国の55団体とともに、地方高校への留学という選択肢を都市部に届けるため、“地域みらい留学フェスタ”に参画した。現在は、145団体が参加している。これによって、県外からの留学生を令和4年度には5人、令和5年度には10人、令和6年度には6人を迎え入れることができた。また、県外学生の受入者に対する下宿補助を行っていたが、令和6年度から暫定寮が設置されたため、終了した。</p> <p>地域と高校をつなぐコーディネーターを配置したことにより、高校が地域を題材にした特色ある科目が設定し、地域との関わりの中での学習機会が創出されている。また、運営についても地域と共に考えていく、コミュニティスクールに向けた取組が行われている。</p> <p>今後もこれらの活動を継続し、和気閑谷高校の存在意義を高め、存続につなげていく。</p>	<p>・高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクトは、今後も進化させていけば良い。</p> <p>・他の高校と差別化を図るために、部活動などで特色のある活動を取り入れるといった和気閑谷高校ならではの取組をしていくのが良い。</p>
「都市部での地方高校全国説明会」参加者数	1,803人	3,553人								
「地域課題解決学習全国大会」エントリープロジェクト件数	765件	1,713件								
「共学共創ネットワーク」参加自治体・学校数	93団体	145団体								

S: 地方創生に非常に効果的であった
A: 地方創生に相当程度効果があった
B: 地方創生に効果があった
C: 地方創生に効果がなかった